



供給過剰が国際コーヒー価格の重荷となっている

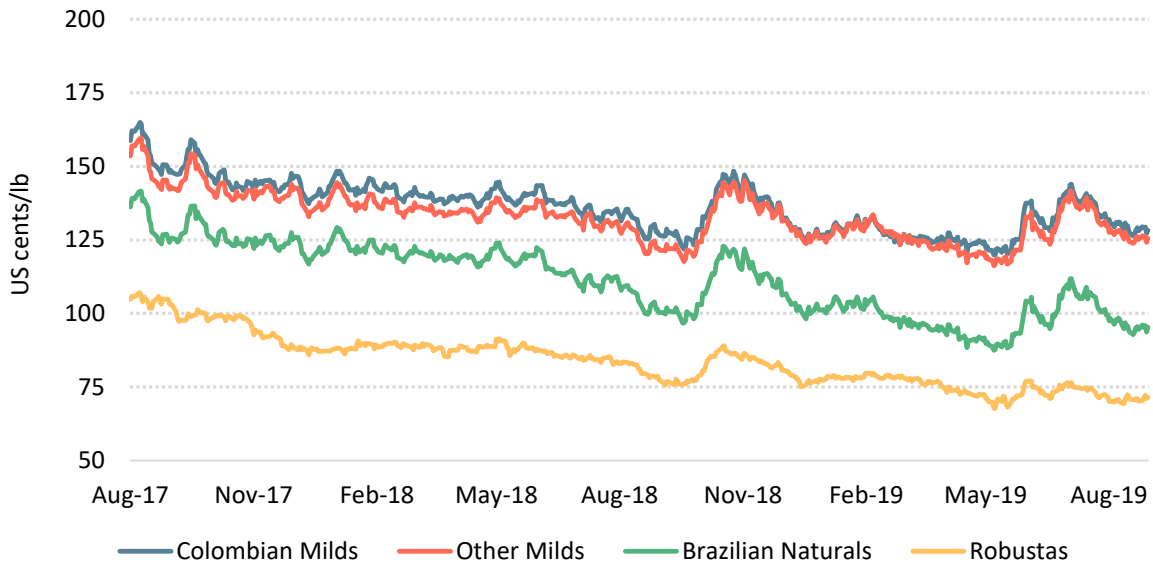
2019年8月のICO複合指標価格は、2019年7月に比べ6.7%下げて96.07 セント（米セント/ポンド。以下同様）、2018年10月の高値111.21セントから13.6%下落した。2018/19コーヒー年度において2019年8月30日までの平均は100.72セントである。2019年7月の世界輸出量は1,134万袋で2018年7月より9.5%増加、2018/19年度経過10か月では1億941万袋で前年同期間より10.2%増加している。世界生産量は3.9%増加し1億6,973万袋で潤沢な供給量が輸出を促進した。コーヒーの輸出形態は依然としてその大部分が生豆であり、2018年10月から2019年7月までの輸出数量全体の91.3%を占めている。世界のコーヒー需要は2.1%増加して1億6,677万袋となり、アジア&オセアニアおよびアフリカの成長は他の地域を上回っていると推定されている。しかしながら、2018/19年度の需給は496万袋の供給過剰で、生産の過剰が2年連続する見込みであり、過去2シーズンの累積供給過剰は700万袋に達すると推定され、現在のコーヒー価格低迷の主因の1つに挙げられる。

図 1: ICO複合指標価格



ICO複合指標価格の2019年8月平均は96.07セントで7月から6.7%下落した。2018年10月にコーヒー年度初めて付けた高値111.21セントから13.6%低い。8月月中の複合指標価格レンジは、8月19日に付けた最安値94.29セントから8月8日の最高値97.43セントの範囲だった。供給過剰はマーケットに重荷となり価格の下方圧力が続いている。

図 2: ICOグループ指標価格



8月はすべてのグループ指標価格が下落した。先月4.7%の回復を示したブラジルナチュラルは悪天候懸念が解消したことから9.1%下落して95.85セントとなった。アザーマイルドは6.8%下落の126.23セント、コロンビアマイルドは6.1%下落の129.20セントだった。アザーマイルドの下落が大きかったことから、コロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差は37.5%増加し2.97セントに広がった。ロブスタは4.3%下落し70.78セント、月次平均価格としては過去12か月間で最も低い。

8月のニューヨークとロンドンの先物市場で測定したアラビカとロブスタのアービトラージは38.97セントで7月より11.8%縮小した。ICO複合指標価格のボラティリティ(Intra-day)は、すべてのグループ指標のボラティリティが低下したため2.3ポイント低下し6.9%となった。アラビカグループのボラティリティは、ブラジルナチュラルが2.7ポイント低下して9.3%、アザーマイルドは2.5ポイント低下し7.2%、コロンビアマイルドは2.1ポイント低下して6.6%だった。ロブスタは5.6%で前月より1.3ポイント低下している。

図 3: ニューヨークとロンドン先物市場の
アービトラージ

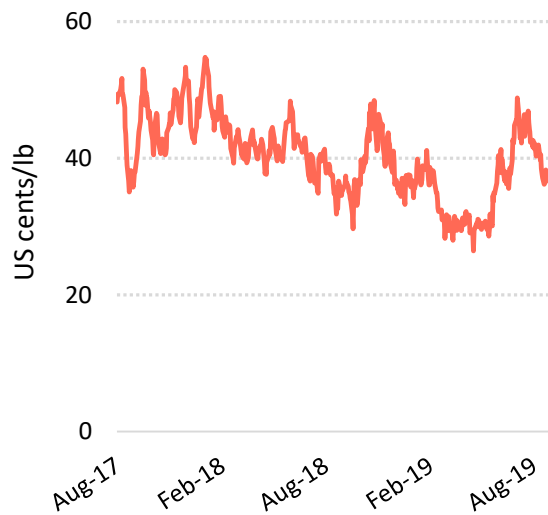
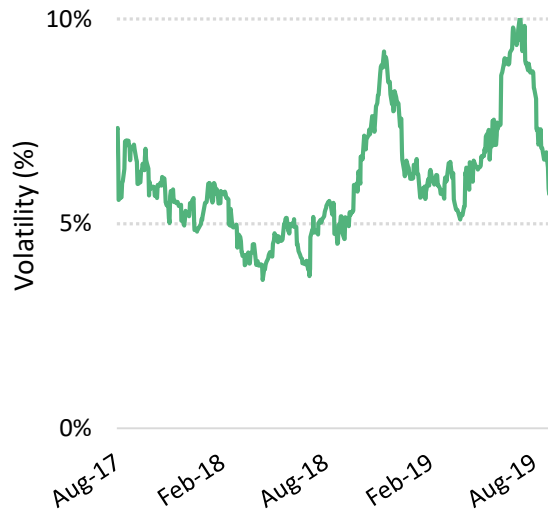


図 4: ICO複合指標価格の30日移動平均
価格変動率



2018/19年度の世界のコーヒー生産量は1億6,973万袋と推定され2017/18年度に対し3.9%増加である。南米の生産量は4.9%増の8,113万袋の見込みで、先月に対してブラジルの100万袋弱の上方修正が含まれている。アジア・オセアニアは4.1%増の4,868万袋、アフリカは2.9%増の1,821万袋と見込まれる。メキシコおよび中央アメリカの生産量は0.4%の微増で2,172万袋と予想される。

2019年7月の世界コーヒー輸出量は豊富な供給と価格の上昇に支えられ2018年7月に対して9.5%増の1,134万袋となった。**2018/19コーヒー年度経過10か月間の世界輸出量は10.2%増の1億9,041万袋である。**ブラジルナチュラルの輸出量は2018年10月から2019年7月に27.6%増の3,508万袋、コロンビಾಮイルドは7.6%増の1,259万袋、ロブスタは6.9%増の3,890万袋だった。一方アザーマイルドは2,230万袋で3.7%減少している。

2018/19コーヒー年度経過10か月間で、コーヒー生豆の輸出量は9,986万袋で輸出全体の91.3%を占めている。この比率は生豆での輸出が全体の約95%を占めていた30年前から僅かに下がっているものの、付加価値の大半が依然として輸入国側に留まっていることを示している。ソリュブルコーヒーの輸出量は全体の8.3%、焙煎コーヒー（焼き豆）はわずか0.4%に過ぎない。2018/19コーヒー年度経過10か月で、ソリュブルコーヒーの総輸出量は906万袋、焙煎コーヒーは487,080袋だった。

図 5: コーヒー生豆輸出事 (10月~7月)

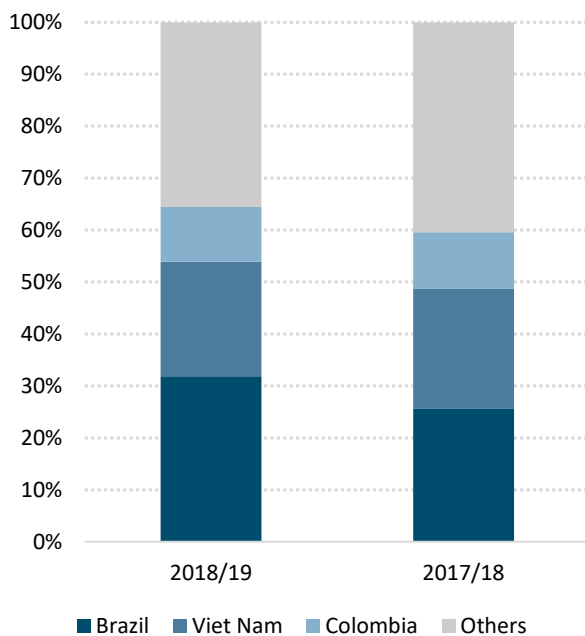
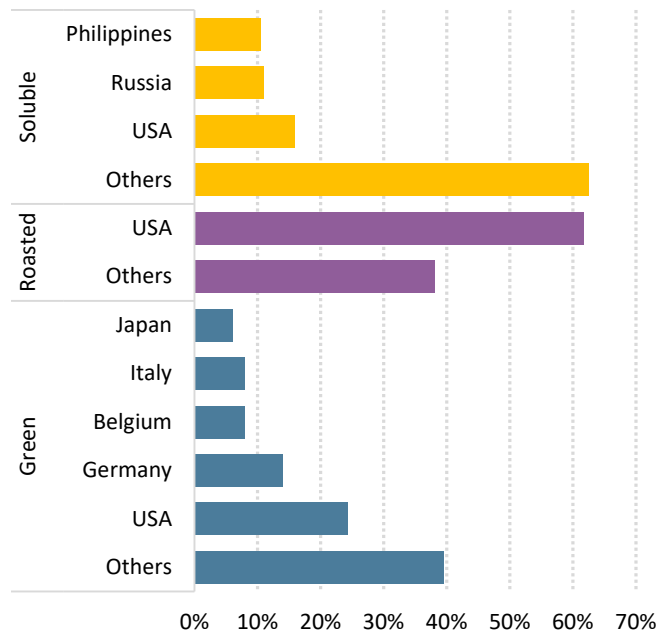


図 6: コーヒー輸出事先内訳



2018年10月から2019年7月までにブラジルは3,183万袋のコーヒー生豆を輸出している。これは前年同期間よりも38.4%増加しており、生豆の全世界輸出事量の約31.9%を占める。ベトナムの生豆での輸出事量は2018/19コーヒー年度経過10か月で2,200万袋に達し、世界輸出事量の22%を占め世界第2位である。コロンビアの生豆輸出は生産量の増加により7.1%増加して1,052万袋だった。しかしながら、ホンジュラスとウガンダはそれぞれ2.3%減の629万袋、3.1%減の360万袋である。生豆輸出の主な輸出事先は、米国、ドイツ、ベルギー、イタリア、および日本だった。2018年10月から2019年7月で、5か国への総輸出事量は3,248万袋に達し生豆輸出全体の32.5%を占めている。

メキシコ、コロンビア、ベトナム、ブラジル、およびドミニカ共和国は、コーヒー生産国の中で焙煎コーヒー（焼き豆）の5大輸出事国であり、2018/19コーヒー年度経過10か月での焙煎コーヒー総輸出事量の92.7%を占めている。メキシコは183,832袋の焙煎コーヒーを輸出し、コロンビアの輸出は124,560袋だった。ベトナムの焙煎コーヒーの輸出事量は19.8%減少して116,407袋、ブラジルも1.1%減少して15,874袋である。一方、ドミニカ共和国は45.9%増加して11,054袋だった。焙煎コーヒーの輸出は米国向けが大部分である。2018/19年度経過10か月において焙煎コーヒー輸出全体の約60%を占めている。

図 7: 焙煎コーヒー輸出
(10月～7月)

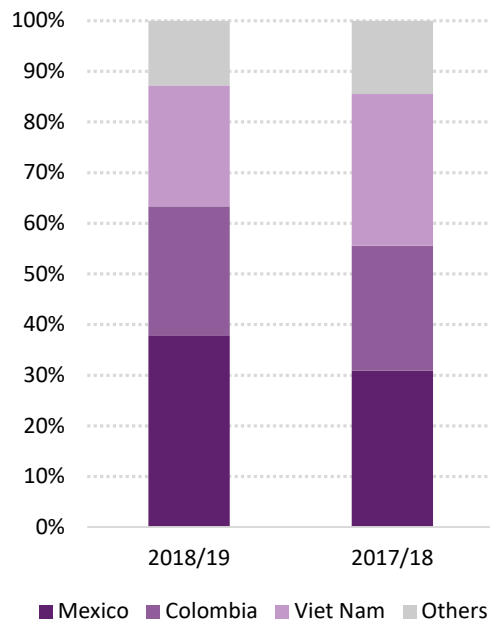
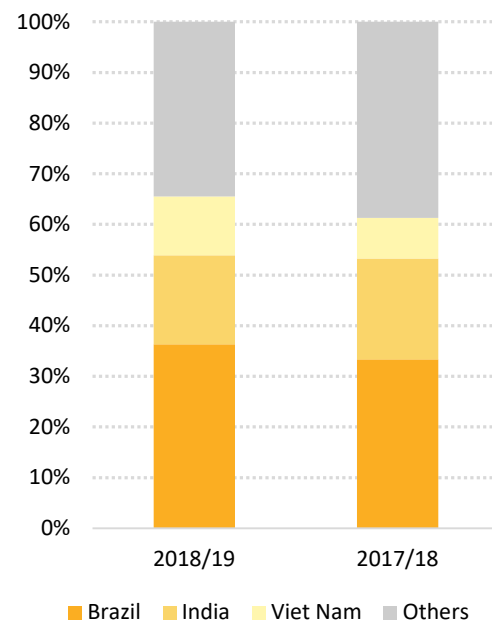


図 8: ソリュブルコーヒー輸出
(10月～7月)

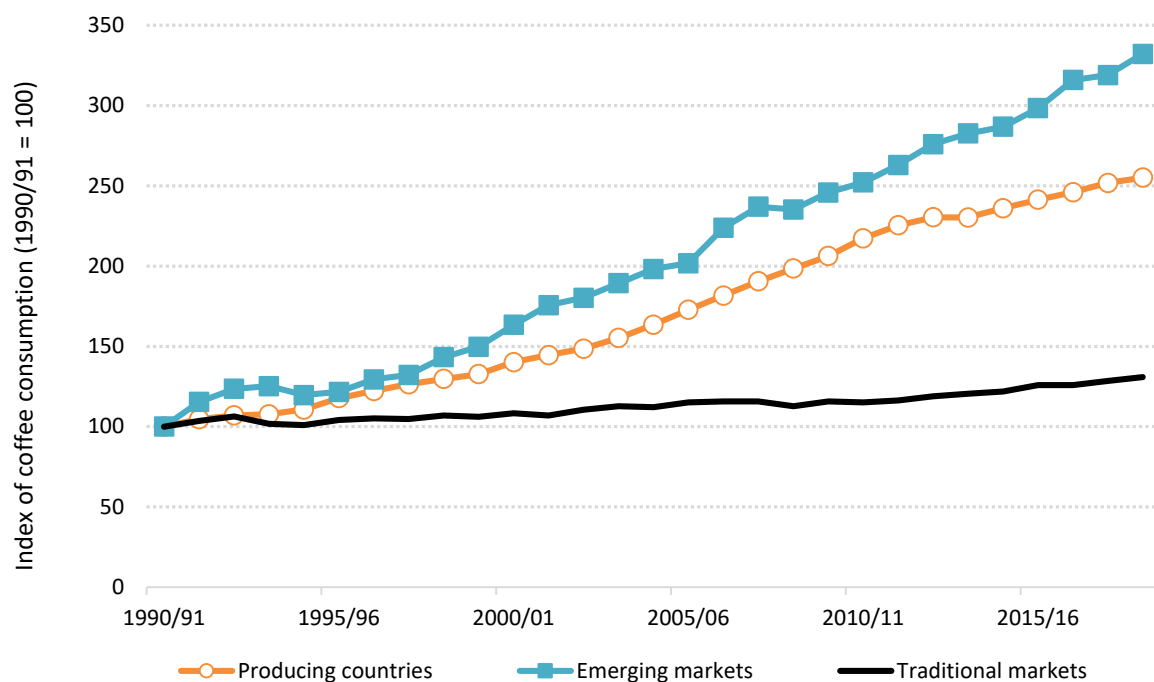


ブラジルは2018年10月から2019年7月においてソリュブルコーヒーの最大の輸出国であり、輸出量は329万袋で前年同期対比10.7%増加している。インドの輸出量は159万袋であるが前年対比10.3%の減少、一方ベトナムは48%増加して106万袋である。インドネシアは20.5%減少して990,279袋、メキシコは6.5%減少して674,988袋だった。主な輸出先は米国、ロシア連邦、フィリピン、ドイツ、ポーランドである。

輸出に占める加工コーヒー（Processed coffees）の比率は過去30年間あまり変化していないが、加工コーヒーの単価がコーヒー生豆よりも高いことから明らかなように、生産国においてコーヒーに加工を施すことで付加価値を増すが出来る。たとえば、生豆の加工処理をすることでブラジルからの輸出単価は2倍になっているし、コロンビアでも加工コーヒーの輸出単価は生豆よりも約60～75%高い。2018/19年にブラジルとコロンビアから輸出されたコーヒー生豆価格の月次平均は、それぞれ94.66セントと139.07セントだった。これに対してブラジルの焙煎コーヒーの輸出平均単価は224.30セントで、コロンビアは247.76セント、またブラジルのソリュブルコーヒーの輸出平均単価は210.44セントで、コロンビアは221.82セントである。この付加価値は、国内消費であろうと新規輸出であろうとコーヒーの持続的な需要増加として活用出来る。

2018/19コーヒー年度の消費量は2.1%増加し1億6,477万袋と推定され、これは過去20年間における年間成長率の平均2.2%に沿っている。アジアとオセアニアの消費は3.7%増の3,584万袋、アフリカは3%増の1,188万袋が見込まれる。これら2つの地域の需要は長期平均を大きく上回る速さで伸びており生産国と新興市場の両方が含まれている。北米の需要は2.2%増加し3,061万袋、ヨーロッパは1.5%増の5,397万袋、南アメリカは1.1%増の2,727万袋、メキシコ/中央アメリカは0.2%増の521万袋と推定されている。

図 9: 世界コーヒー消費量の地域別展開（生産国、新興市場、既存市場）



Note: Emerging and traditional markets do not include producing countries.

消費量に比べて生産量の増加が大きいことを考慮すると、**2018/19年度は生産量が消費量を496万袋上回る見込みである。** 2017/18年度も生産過剰であったことから2か年累計の生産過剰は700万袋となる。

表 1: ICO 指標価格と先物価格 (US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
Monthly averages							
Aug-18	102.41	129.99	125.21	104.46	80.74	108.12	71.94
Sep-18	98.17	125.74	121.18	99.87	76.70	102.83	68.03
Oct-18	111.21	140.83	137.34	115.59	85.32	119.73	77.16
Nov-18	109.59	139.27	137.11	113.27	83.52	117.06	75.23
Dec-18	100.61	127.86	127.10	102.10	77.57	105.79	69.59
Jan-19	101.56	129.28	128.46	102.94	78.24	107.93	70.32
Feb-19	100.67	127.93	128.45	100.06	78.65	104.12	70.52
Mar-19	97.50	125.23	123.89	95.81	76.96	98.84	68.61
Apr-19	94.42	124.42	121.13	92.47	73.28	95.31	65.06
May-19	93.33	124.40	120.55	91.95	71.12	94.86	62.45
Jun-19	99.97	133.49	129.73	100.69	74.02	104.44	65.41
Jul-19	103.01	137.63	135.47	105.43	73.93	109.01	64.83
Aug-19	96.07	129.20	126.23	95.85	70.78	99.87	60.90
% change between Jul-19 and Aug-19							
	-6.7%	-6.1%	-6.8%	-9.1%	-4.3%	-8.4%	-6.1%
Volatility (%)							
Aug-19	6.9%	6.6%	7.2%	9.3%	5.6%	10.1%	6.8%
Jul-19	9.2%	8.7%	9.7%	12.0%	6.9%	12.7%	8.2%
Variation between Jul-19 and Aug-19							
	-2.3	-2.1	-2.5	-2.7	-1.3	-2.6	-1.4

* Average price for 2nd and 3rd positions

表 2: 価格差 (US cents/lb)

	Colombian Milds	Colombian Milds	Colombian Milds	Other Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	New York*
	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	Brazilian Naturals	Robustas	Robustas	London*
Aug-18	4.78	25.53	49.25	20.75	44.47	23.72	36.18
Sep-18	4.56	25.87	49.04	21.31	44.48	23.17	34.80
Oct-18	3.49	25.24	55.51	21.75	52.02	30.27	42.57
Nov-18	2.16	26.00	55.75	23.84	53.59	29.75	41.83
Dec-18	0.76	25.76	50.29	25.00	49.53	24.53	36.20
Jan-19	0.82	26.34	51.04	25.52	50.22	24.70	37.61
Feb-19	-0.52	27.87	49.28	28.39	49.80	21.41	33.60
Mar-19	1.34	29.42	48.27	28.08	46.93	18.85	30.23
Apr-19	3.29	31.95	51.14	28.66	47.85	19.19	30.25
May-19	3.85	32.45	53.28	28.60	49.43	20.83	32.41
Jun-19	3.76	32.80	59.47	29.04	55.71	26.67	39.03
Jul-19	2.16	32.20	63.70	30.04	61.54	31.50	44.18
Aug-19	2.97	33.35	58.42	30.38	55.45	25.07	38.97
% change between Jul-19 and Aug-19							
	37.5%	3.6%	-8.3%	1.1%	-9.9%	-20.4%	-11.8%

* Average price for 2nd and 3rd positions

表 3: 世界のコーヒー需給バランス

Coffee year (October to September)	2014	2015	2016	2017	2018*	% change 17/18 to 18/19
PRODUCTION	150 511	156 041	157 293	163 418	169 727	3.9%
Arabica	87 516	93 273	99 525	101 108	104 644	3.5%
Robusta	62 879	62 749	57 723	64 643	65 083	0.7%
Africa	15 730	15 885	17 265	17 691	18 206	2.9%
Asia & Oceania	46 365	49 343	45 341	46 759	48 677	4.1%
Mexico & Central America	17 486	16 955	19 768	21 634	21 718	0.4%
South America	70 930	73 858	74 920	77 334	81 126	4.9%
CONSUMPTION	150 841	155 452	158 283	161 372	164 769	2.1%
Exporting countries	46 505	47 548	48 458	49 598	50 257	1.3%
Importing countries (Coffee Years)	104 336	107 904	109 825	111 774	114 512	2.4%
Africa	10 706	11 014	11 179	11 532	11 876	3.0%
Asia & Oceania	31 596	32 911	34 244	34 571	35 839	3.7%
Mexico & Central America	5 230	5 153	5 142	5 197	5 206	0.2%
Europe	50 991	52 140	52 043	53 155	53 967	1.5%
North America	27 363	28 934	29 559	29 941	30 606	2.2%
South America	24 955	25 300	26 116	26 976	27 274	1.1%
BALANCE	-330	589	-989	2 046	4 958	

In thousand 60-kg bags

*preliminary estimates

Note: Data on crop year production can be found at www.ico.org/trade_statistics.asp

表 4: 輸出国の総輸出量

	Jul-18	Jul-19	% change	October-July		
				2017/18	2018/19	% change
TOTAL	10 355	11 344	9.5%	99 278	109 405	10.2%
Arabicas	6 385	6 844	7.2%	62 903	70 505	12.1%
Colombian Milds	1 182	1 247	5.5%	11 696	12 590	7.6%
Other Milds	2 578	2 453	-4.9%	23 715	22 834	-3.7%
Brazilian Naturals	2 625	3 144	19.8%	27 492	35 081	27.6%
Robustas	3 971	4 500	13.3%	36 374	38 900	6.9%

In thousand 60-kg bags

Monthly trade statistics are available on the ICO website at www.ico.org/trade_statistics.asp

表 5: ニューヨークとロンドン先物市場の認証在庫

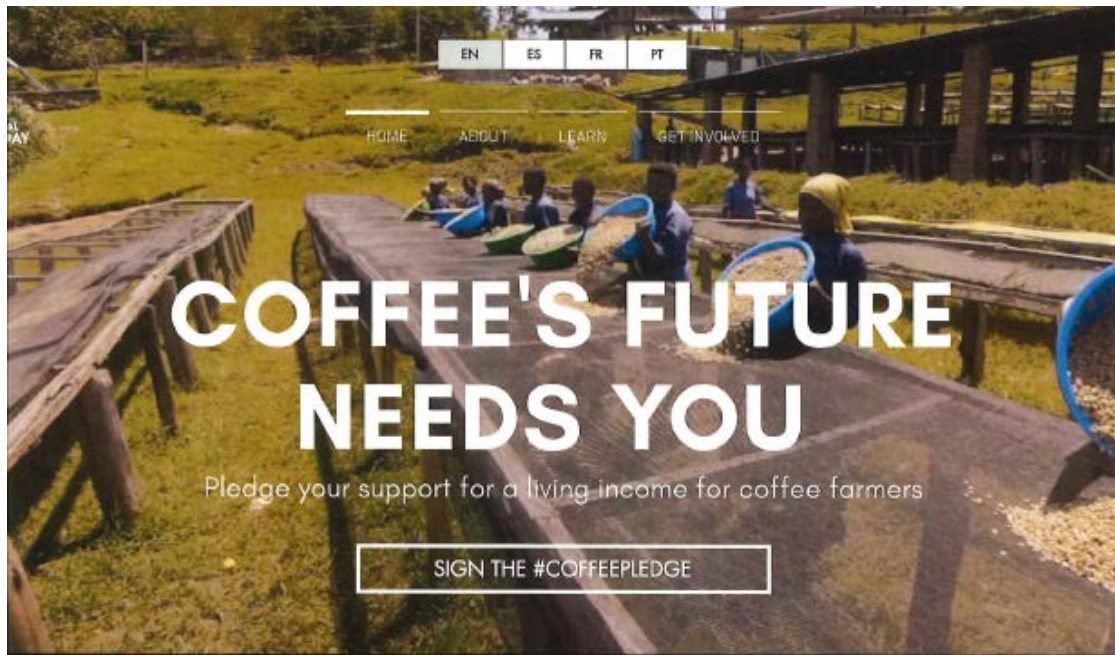
	Aug-18	Sep-18	Oct-18	Nov-18	Dec-18	Jan-19	Feb-19	Mar-19	Apr-19	May-19	Jun-19	Jul-19	Aug-19
New York	2.51	2.70	2.78	2.79	2.80	2.82	2.83	2.84	2.81	2.75	2.70	2.70	2.69
London	1.26	1.51	1.58	1.77	1.88	2.08	2.01	1.97	1.98	2.11	2.18	2.47	2.60

In million 60-kg bags

=== 海外情報トピックス ===

2019 年 9 月海外情報トピックスは、ICO 国際コーヒー機関による 2019 年国際コーヒーデーに関するキャンペーンについてご案内します。

ウェブサイトは <https://www.internationalcoffeeday.org/> です。



コーヒーの将来はあなたを必要としています。

WHAT'S CAUSING THE COFFEE PRICE CRISIS?

Due to an increase in crop yields, causing two consecutive years of surplus in the market, there is currently a global oversupply of coffee. This oversupply is driving down the market price of coffee that farmers are paid (to a 15-year low). At the same time the cost of production has increased (labour, fertiliser, land etc) meaning farmers don't make enough to survive, and while the cup of coffee you drink may not be any cheaper, the amount that farmers are paid for their crop yield is only around 1 cent (USD) per cup.

15-year

low in coffee
prices

30%

below the
10-year average

12 million

farming
households

コーヒー価格危機（低迷）の原因は何か？

収穫量の増加により市場では2年連続の余剰が発生し、現在コーヒーは世界的に過剰供給されています。農家に支払われるコーヒーの値段を下げ（15年ぶりの最低値）、

同時に生産コスト（労働、肥料、土地など）が増加しています。コーヒー農家は生計を立てるのに十分ではありません。あなたが飲むコーヒーは安くはないかもしれませんが、生産農家が受け取る金額は1カップあたり約1セント(US\$)に過ぎません。

15年での最安値 10年平均より30%下落 1200万戸の農家

SIGN THE #COFFEEPLEDGE

#COFFEEPLEDGE（コーヒーの誓い）

コーヒーの未来は危険にさらされています。コーヒー農家は生活するのに十分ではなく価格は常に低いです。状況が変わらなければ、農家はコーヒー豆を生産することができなくなりコーヒーを危険にさらすことになります。

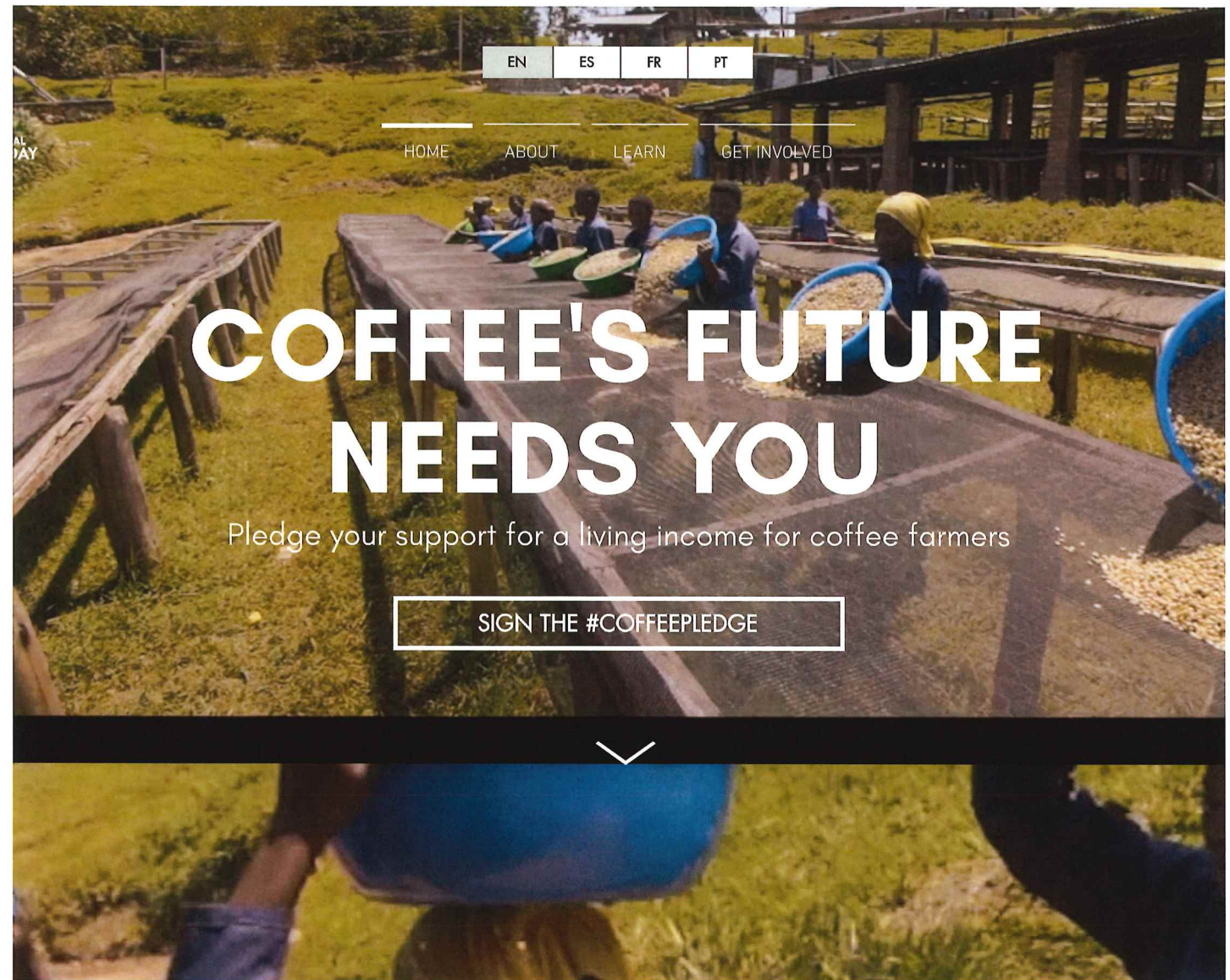
しかし、あなたが助けるためにできることがあります。

今すぐ行動し、#coffeepledgeに署名をお願いします。

以下、本キャンペーンのウェブサイト <https://www.internationalcoffeeday.org/> の抜粋を添付致しますので、是非ワンクリック頂き、「#COFFEEPLEDGE（コーヒーの誓い）」にご賛同にご参加をお願い致します。

全日本コーヒー協会はICO国際コーヒー機関/国際コーヒーデーを支援しています。

会員各位のご参考となれば幸いです。



WELCOME TO INTERNATIONAL COFFEE DAY 2019

Every year on 1 October, the world comes together to celebrate coffee and recognise the millions of people across the globe – from farmers, to roasters, baristas, coffee shop owners and more – who work hard to create and serve the beverage we all love.

Coffee has never been more popular, with an estimated 3 billion cups consumed every day, a number which continues to rise. The diverse mix of global celebrations that take place on International Coffee Day truly showcase coffee as one of the world's most loved beverages.

Whilst this is a time for celebration, leading up to and during ICD each year, we also focus on how to continue to improve coffee's future. At present, in spite of growing demand, coffee faces a dramatic issue, as the prices that producers receive today are more than 30% below the average of the last ten years, threatening the livelihoods of coffee farmers and their families.

This year we're on a collective mission to help coffee farmers around the world receive a fair, living income.

But to do it we need your help, find out more below.





LEARN

Coffee has such a rich and diverse history, produced in over 50 countries around the world. It takes so much more than you might think to deliver that special cup of coffee that we all love so much. Click the button below to find out more about how coffee is made.

FIND OUT MORE



PLEDGE

Coffee has never been more popular, but the livelihoods of coffee farmers who grow and produce the coffee we enjoy are under threat. This year we are bringing the coffee community together to sign a [#coffeepledge](#) that calls for a living wage for coffee farmers.

GET INVOLVED



JOIN IN

International Coffee Day (ICD) on 1 October brings together coffee lovers in a global celebration. There are many ways to join in; why not host or attend an event, join the coffee conversation online or enter our amazing competition!

FIND OUT MORE

WHAT'S CAUSING THE COFFEE PRICE CRISIS?

Due to an increase in crop yields, causing two consecutive years of surplus in the market, there is currently a global oversupply of coffee. This oversupply is driving down the market price of coffee that farmers are paid (to a 15-year low). At the same time the cost of production has increased (labour, fertiliser, land etc) meaning farmers don't make enough to survive, and while the cup of coffee you drink may not be any cheaper, the amount that farmers are paid for their crop yield is only around 1 cent (USD) per cup.

15-year

low in coffee
prices

30%

below the
10-year average

12 million

farming
households

AN ANTHEM FOR INTERNATIONAL COFFEE DAY 2019

This International Coffee Day we are shining a spotlight on the plight of millions of coffee farmers around the world, who deserve to receive a living wage. Shot in the setting of beautiful Kibuye, Rwanda we invite you to watch 'An Anthem for International Coffee Day' and listen to the life and sounds of coffee to see what it takes to create the beans that go into every cup of coffee we drink each day.

Watch the video below.



An Anthem for International Coffee Day 2019

To find out more about how coffee is made take a look at our learn section.

[FIND OUT MORE](#)

#COFFEEPLEDGE

Coffee's future is in jeopardy. Coffee farmers aren't making enough to live on and prices are at an all time low. If things don't change farmers will no longer be able to produce coffee beans, putting your cup of coffee under threat. But there is something you can do to help.

Act now, sign the #coffeepledge.

[SIGN THE PLEDGE](#)

JOIN THE MOVEMENT

Join our mailing list to stay updated on our progress with the #coffeepledge



© 2019 by International Coffee Organization

